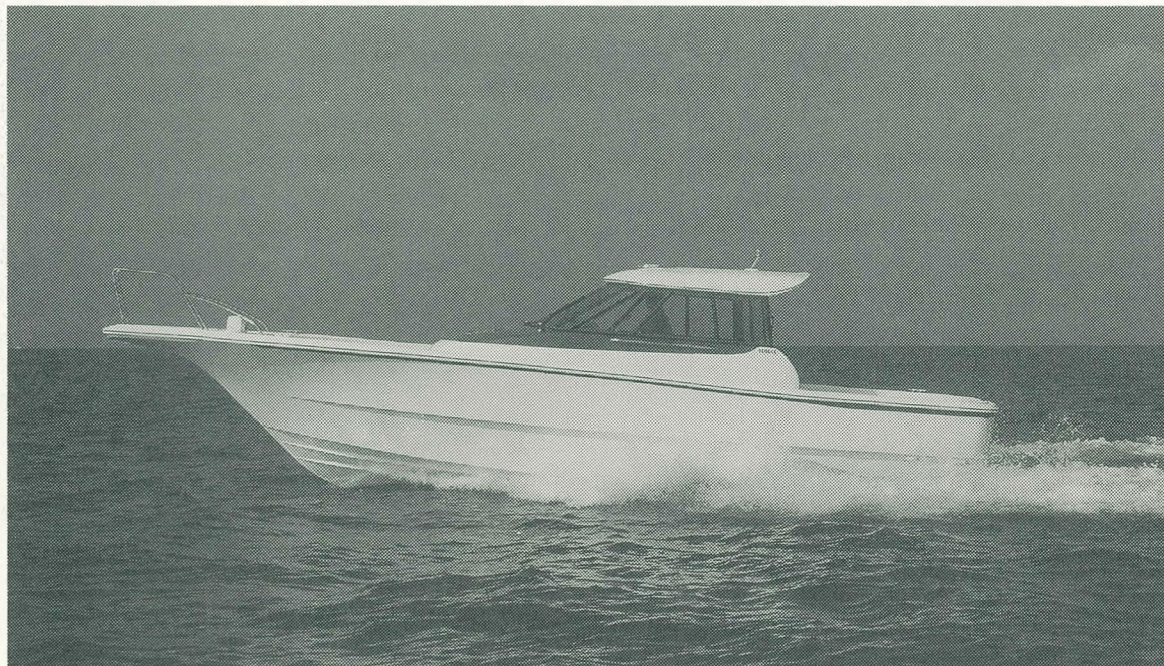


1995年8月31日

釣りマニア向けの本格派フィッシングボート

ヤマハ『UF - 30 I/B』 新 発 売

ヤマハ発動機株式会社では、釣りマニアを対象としたフィッシングボート『UF - 30 I/B』を新たに開発いたしました。10月1日より発売いたします。



ヤマハ『UF - 30 I/B』

< 東京店頭渡し希望小売価格 > 10,585,000 円

- ・ディーゼル船内機 MD386KUH (230馬力) 1基付き
- ・限定沿海法定安全備品含む
- ・消費税別

< 販 売 計 画 隻 数 > 60 隻 / 初年度

ヤマハ発動機株式会社

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500
東京広報課 ● 〒104 東京都中央区銀座

TEL.0538() FAX.0538()
TEL.03() FAX.03()

< 市場背景と商品の概要 >

熱心な海釣りファンが高く評価するボートは、釣りやすさ（デッキが広い、静止時の安定性が良い）・乗りやすさ（揺れが少なく、疲れにくい）・耐航性（波切りが良く、荒天に強い）を兼ね備え、燃費の点でも気がねなく使えるフネです。日本の海況に適合し発展してきた「漁船」は、信頼性の高さや釣機能面から、海釣りマニアにとって理想的なフネになります。

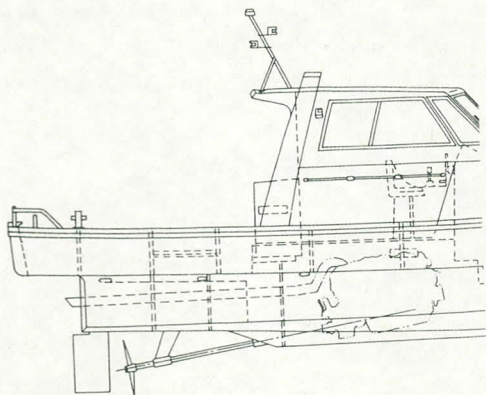
新開発の『UF-30 I/B』は、UFシリーズ初の一軸インボード（I/B）モデルで、プレジャーボートの快適性と漁船の機能性をあわせもち、なおかつ外洋での耐航性と乗心地に優れた性能を発揮します。

< 『UF-30 I/B』の特徴 >

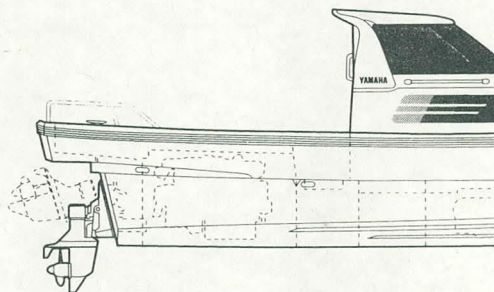
※I/Bはイン・ボード（船内機仕様）の略です

船内機+ダイレクト・ドライブの採用

『UF-30 I/B』ではUFシリーズ初の一軸インボード／ダイレクト・ドライブを採用しました。これは、ディーゼル船内機（インボード・エンジン）から伸びた軸先に直接プロペラを付けたシンプルな形式で故障が少なく、特に外洋においては信頼性の高さが評価されています。エンジン位置が船体中央部にくるので、後部デッキをフラットにでき、釣りスペースを防げないというメリットもあります。



インボード・ダイレクトドライブ
（船内機）



インボード・アウトドライブ
（船内外機）

漁船市場で信頼されているディーゼルを搭載

ヤマハ発動機は国内初のFRP漁船を開発するなど、漁船市場においても30年以上の実績を持っています。また、漁船用ディーゼルエンジン開発にも取り組んでいます。

『UF-30 I/B』の標準エンジン、MD386KUH（230馬力、排気量3,839cc）は漁業者から信頼を得ているディーゼルで、特に、燃費の良さと耐久性には定評があります。『UF-30 I/B』搭載にあたってはラバーマウント（硬質ゴムのエンジン受け）を採用し、振動・騒音を低レベルにおさえています。

高速時にも乗り心地の良い船型

『UF-30 I/B』の船型は、耐航性の高い漁船船型を基本に、プレジャーボート船型の高速性と乗り心地の良さを加味した新しい船型を採用しています。そのため、MD386KUHとのマッチングでは最高速度約27ノット（約50km/時）、また巡航速度は約25ノット（約46km/時）という性能を発揮します。

燃料タンク容量は300ℓで、約8時間の連続航行が可能となり、海釣りマニアの長時間の釣行に対応しています。

釣りやすく機能的なデッキレイアウト

釣りやすさを最優先させ、全周で釣ることが可能なウォークアラウンド・スタイルのデッキレイアウトを採用しました。また、インボードエンジンの採用により、アフトデッキ自体も6.1㎡とこのクラスとしては大きく、3～4人が余裕をもって釣れるスペースとしました。さらに、前部デッキの形状に工夫を加え、釣り座として使いやすい新形状にしています。

視界が広く、余裕あるキャビン空間

ウインドーピラー（窓支柱）はFRP製より幅がせまくてすむアルミ製とし、ウインドー面積を大きくとったため、室内の視界は非常に広く、開放感があります。

キャビンのメインサロンは、ドライバーを含む4名が余裕を持って前向き

2名が仮眠できるスペースが確保され、釣行前夜の船内泊り込みにも対応しています。

斬新なスタイリング

『UF-30 I/B』の船型は漁船船型が基本になっていますが、水面より上のスタイリング、特にキャビンハウス形状は、プレジャーボートのあか抜けたデザインになっています。見た目ばかりでなく、高さをおさえるなど形状に工夫をこらし、水面上の面積を小さくし風流れをおさえて、釣りポイントにとどまりやすいよう機能的にデザインされたキャビンハウスです。

----- 開発担当者のコメント -----

『UF-30 I/B』の開発にあたっては、まず、船型の評判の良い漁船モデルを選ぶことから始めました。基本になったのは『FG-33』という実績あるモデルで、これを30フィートという長さに合わせて改良しました。プロトタイプに何回も乗っていますが、『UF-30 I/B』は非常にソフトな乗り心地のフネです。ハンドル操作によく追随する運動性の良さももっています。

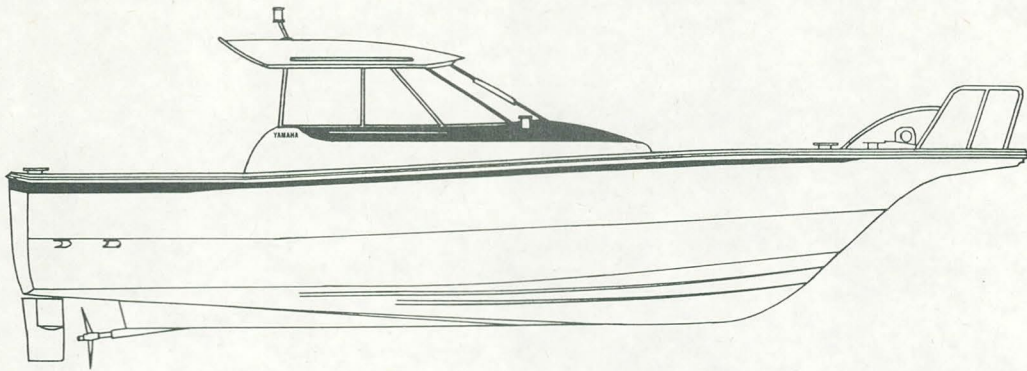
一軸ダイレクトドライブという形式はメリットが多いのですが、インアウトや船外機と比較して後進時の操船性に難があります。『UF-30 I/B』では舵板を大きめにデザインしたことに加え、船尾の形状に工夫を加えて、後進時の操船性を向上させています。またプロペラ点検ハッチ、応急舵柄を設け、安全性も向上させています。

艇首のアンカー収納は釣り人がよく使用する大型アンカーの使用も想定していますし、ロッドホルダー（竿立て）など、購入時に艀装する部分には補強を入れてあり、マニアが自分の釣りスタイルに合わせて仕上げられるフネにしてあります。

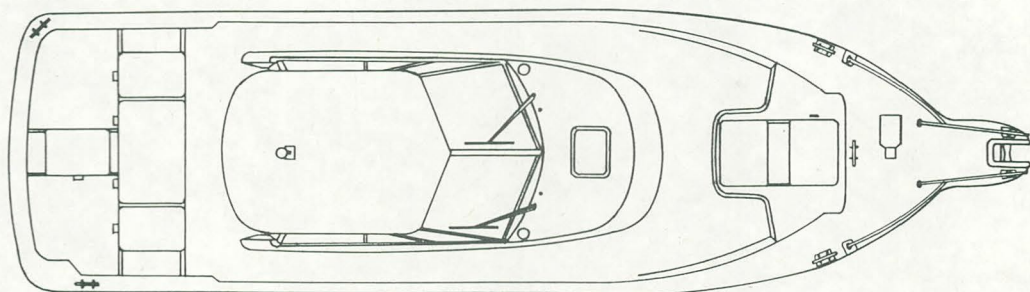
技術室舟艇設計グループ
有 田 規久夫

< 『UF - 30 I/B』 プラン >

■側面図



■デッキレイアウト



< 『UF - 30 I/B』 主要諸元 >

- 全長 : 10.11m
- 全幅 : 2.84m
- 総トン数 : 5トン未満
- 艇体重量 : 2,190kg
- 燃料タンク容量 : 300 ℓ
- エンジン : MD386KUHディーゼル (230馬力) × 1基
- ドライブ形式 : ダイレクト・ドライブ
- 定員 : 9名
- 航行区域 : 限定沿海

- カラーリング : 艇体—白色 (黒色ライン付)
デッキ—白色
ブリッジ—白色 (黒色ライン付)